

高橋恭介・栞田絵理奈 [編著]

Kyosuke Takahashi・Erina Masuda

なぜこの会社に
人は集まるのか

あしたの リーダーたち

10 talented leaders
who will make the next era



CrossMedia
Publishing

はじめに

今、未曾有の人手不足の時代とされています。

株価も上がり、企業業績が向上していて人の需要もどんどん高まっているにもかかわらず、働き手が不足しています。有能な働き手というところさらに不足していて、多くの企業はそうした人材を求めるものの、思うようにいかずに苦労しています。

その一方で、学生や中途採用者が殺到する企業があります。そうした企業はビジネスモデルが優れているだけでなく、人事評価の面や職場環境においても工夫していて、能力を発揮しやすい労働環境を構築しているからです。だからこそ、社員はのびのびと働いて成長することにより企業自体もまた発展し、人もまた自然に集まるといふ好循環になっているのです。

そんな企業の経営者に登場していただいているのが、私とフリーアナウンサーの柘田絵理奈さんと毎週日曜日の朝7時半から放送している『柘田絵理奈とあしたのリーダーた

ち」(ラジオ日本)というラジオ番組です。この番組では、強い志を持ち、成長するべく挑戦し続けている経営者にご出演いただいています。私はこれまで1万人以上の企業経営者とお会いしてきましたが、その中から優れたリーダーにお声がけして、すでに60人以上の方々にご登場いただきました。

経営者だけでなく、ビジネスパーソン、学生や主婦の方々にも幅広く聴いていただけているようで、まったく知らない方から「ラジオを聴いてとても感銘を受けました」とフェイスブックでメッセージをいただいたこともあります。

「気づきを与える」というとおがましいのですが、それぞれの出演者の人生のドラマが、15分という短い時間に現れていて、聴いていただいた方ご自身の働き方や、もっと大きく捉えて仕事観・人生観にまで考えを深めていく内容になっていると思います。

そして、60人の中からさらに厳選した10人のリーダーたちに登場していただいたのが本書です。お話に深みがあることや、事業的なおもしろさがあることなどを念頭に、私と榎田さんとで悩みに悩み抜いて、10人の方々を選ばせていただきました。

本文中では、ラジオ番組ではお伝えしきれなかった人生ドラマを凝縮しています。書籍化にあたっては、各出演者のパートで「人生の折れ線グラフ」や「座右の銘」をご紹介します

ることで、その方の「人となり」をより深く伝えることができるのではないかと考えました。悩んだかいあってか、どの方のお話も非常に興味深く、示唆に富んだ内容になってい
るのではないかと思います。

経営者においては、それぞれのリーダーが赤裸々に語っているお話を自分の経営手法と照らし合わせて読んでもらえれば、ヒントが得られるかもしれません。ビジネスパーソンにおいては、転職時に企業を選ぶ際の社長分析に通じるところがあるのではないのでしょうか。各企業における人事制度についても深く切り込んで語ってもらっていますので、経営者だけでなく、人事担当の方にも有益な内容になっているはずですよ。また、普段、コーポレートサイトなどでは見せないトップの意外な一面が見られますので、学生においては、企業研究や社長分析に活用できるでしょう。経営者、ビジネスパーソン、学生という3方向に読んでいただけるのではないかと思います。

また、本書では「人生の折れ線グラフ」や「座右の銘」に加えて、リーダーそれぞれが大切にしている「コンピテンシー」についても選んでもらい、解説を加えていただきました。コンピテンシーとは、「仕事ができる人の行動特性」を示したものです。

選ばれし10人の経営者がリーダーとして求めるコンピテンシーは何なのか。読者の方々も、ご自身の強みや弱みと照らし合わせてみてください。コンピテンシーに触れることで「この経営者は、人としてこういう人生を歩み、この考えに至ったのだな」ということがより具体的に理解でき、何か自分自身の働き方の行動変容につながるような気づきがあるのではないでしょうか。また、特に経営者にとっては、自身の考えとの類似点・相違点を意識して読んでみても面白いでしょう。

社長の経験や経営手法の話というところ、自分とは関係ない話として捉えてしまうビジネスパーソンは多いかもしれませんが、身近な成功モデルとしても本書に登場するリーダーたちはうってつけだと思います。

当社「あしたのチーム」は、「MVP（マーケット・バリュー・アップ）倶楽部」という教育研修事業を手がけています。これはビジネスパーソンが個人としての市場価値を高める仕事を身に着けることを目的としており、その中に「あしたの履歴書」というテーマの講座が用意されています。通常の履歴書は過去の経歴について書くものですが、「あしたの履歴書」は10年後や30年後といった長期の未来において、自分がどうなってい

かを考えて書いていく中で、働き方を見直してもらおうものです。

今は「なりたい自分」をそう簡単に描ける時代ではなくなっていますが、本書に登場する10人のトップのような「実在するモデル」を見ればイメージしやすいかもしれません。彼らはあなたの10年後、30年後の姿かもしれないのです。

「なぜこの企業に人が集まるのか」の解については、やはり経営者の魅力だと思っています。

私自身への戒めでもあるのですが、「企業はリーダーの器以上にはならない」と考えています。魅力的なリーダーを改めてこの本で知っていただき、経営とは何か、会社とは何かということを感じていただければ幸いです。

浮わついた成功者の本でもなければ、そのままマネできる簡便な経営手法の本でもない。骨太の経営論・人生論をぜひお楽しみください。

2017年11月

株式会社あしたのチーム 代表取締役

高橋 恭介